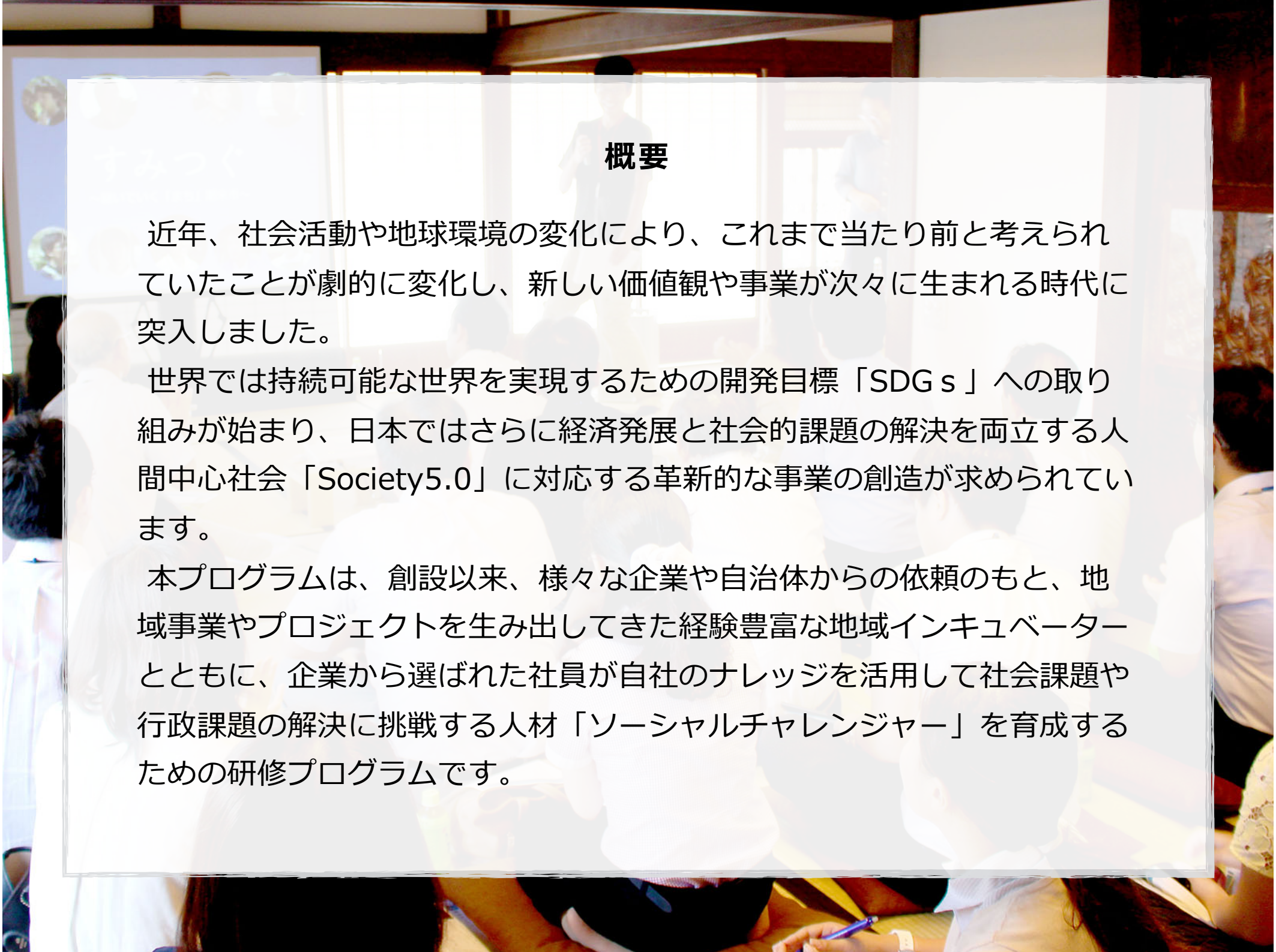
ソーシャルチャレンジャー

～社会課題に挑戦する人材研修プログラム～

我楽田工房　　ボノ株式会社

191112



概要

近年、社会活動や地球環境の変化により、これまで当たり前と考えられていたことが劇的に変化し、新しい価値観や事業が次々に生まれる時代に突入しました。

世界では持続可能な世界を実現するための開発目標「SDGｓ」への取り組みが始まり、日本ではさらに経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心社会「Society5.0」に対応する革新的な事業の創造が求められています。

本プログラムは、創設以来、様々な企業や自治体からの依頼のもと、地域事業やプロジェクトを生み出してきた経験豊富な地域インキュベーターとともに、企業から選ばれた社員が自社のナレッジを活用して社会課題や行政課題の解決に挑戦する人材「ソーシャルチャレンジャー」を育成するための研修プログラムです。

どんなプログラム？

社会課題を解決する革新的な事業づくりを目指す企業と、観光や食農、医療、交通、環境、エネルギーなど、様々なテーマを掲げる自治体をマッチングします。その後、一定期間（3～6ヶ月間、週1～2日間程度）その自治体職員や地域住民と連携し、社会課題や行政課題の解決に挑戦するプログラムを実施していきます。

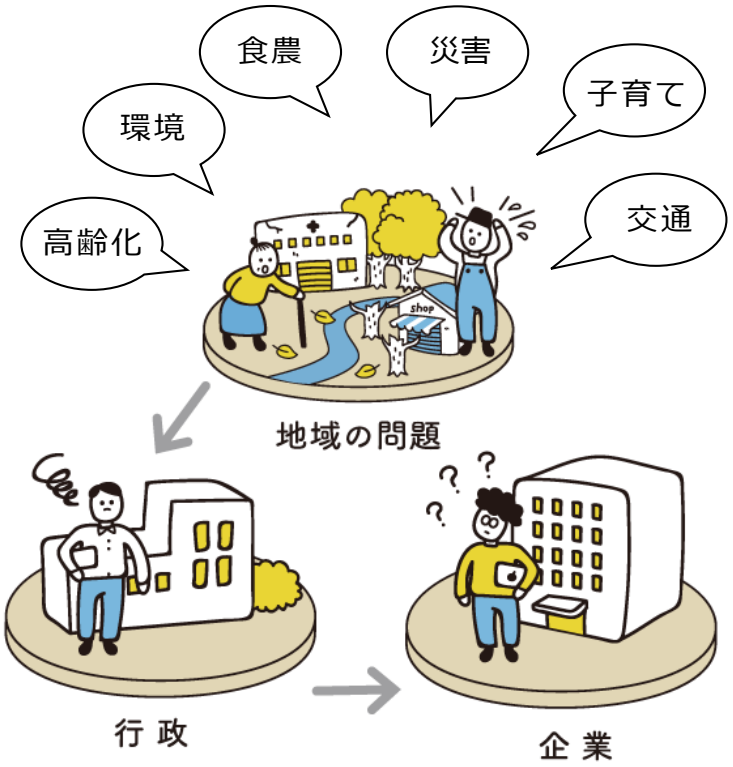
地域の課題を理解したうえで地域住民とともにビジョンを描き、地域を良くするために歩み出すプロセスを大切にしています。これまでにないアプローチからの新しい事業の創造のため、課題の設定から企画・実行までをサポートし、企業と自治体の双方の課題解決につなげます。

6つの資本ワークショップ
（地域の開拓と可視化）

フィールドワーク
（住民取材→レポート化）

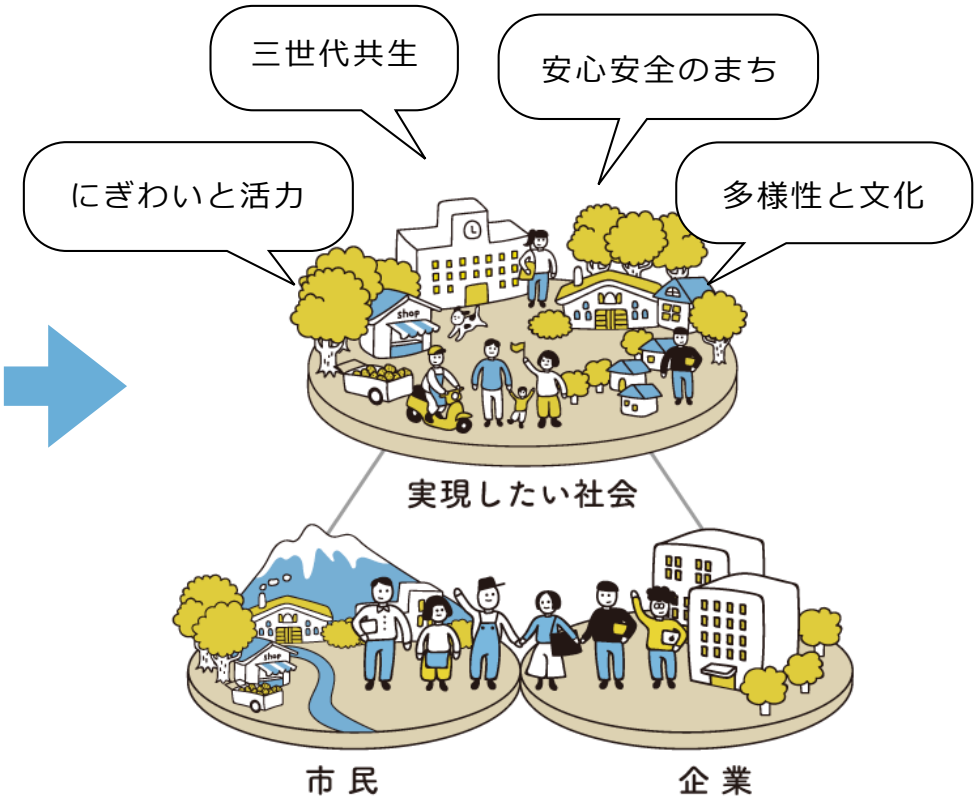
地域事業のあり方

これまで



課題を認識しても、当事者たちと
対話をすることなく解決に取り組
むので、成果につながらない

これから



市民と企業が実現したい社会
（Vision）を共有し、対話しながら
課題解決に取り組む

社会課題へ挑戦する人材
ソーシャルチャレンジャーとは？

市民とともに実現したい社会像（Vision）を描き、課題解決に挑戦する人材です。本プログラムを通して、社会課題の解決への挑戦と、持続可能な事業の創造に必要な能力を育成していきます。

必要な能力

- ✦ 自主性・行動力
- ✦ リーダー・統率力
- ✦ プロジェクト推進力
- ✦ コミュニケーション力
- ✦ 情報収集力
- ✦ 企画・創造力
- ✦ 仮説検証力

ソーシャルチャレンジャー

挑戦と創造

プログラムの流れ

1．地域＆テーマの選定	ヒアリング結果をもとに、研修先となる地域とテーマを選定。自治体関係者との調整を行います。
2．事前研修	地域に足を運ぶ前に知っておきたい基礎知識を学びます。地域情報や現状の課題の認識方法、未来の事業を構想する手法などを扱います。
3．現地フィールドワーク	現地の施設や地域環境を視察。自治体関係者、住民、地元企業、生産者との対話を通じて、リアルな生活者の視点や地域資源に触れます。地域のキーパーソンと密に連携して関係構築を行い、持続可能な社会、人間中心社会に必要な要素を考えていきます。
4．アクションプランの作成	地域での体験を振り返り、アクションプランとしてまとめます。得たファクトをもとに、社会課題を解決するアクションプランを策定するための課題設定や、事業提案に発展させるためのプロセスを描きます。再度、地域視察へ行ったり、オンラインでミーティングしたりすることもあります。
5．活動報告会	プログラムの成果やその後の展開を、自社のスタッフや関係した地域関係者などに向けて発表します。事後に実践的なアクションを発表することは、参加者にとってより総合的なキャリア学習の機会となります。
6．フォロー	研修して終わりではなく、引き続き、地域と連携しながら継続して社会実装できる事業の創出を目指します。そのための関係者との調整や機会づくりなどのフォローを行っていきます。

成果

これからの時代に求められる挑戦と創造を担う次世代のリーダー（経営人材）の育成につながります。
その結果、企業は以下のベネフィットを得ることができます。

- ✦ 地域との継続的な協力関係
- ✦ 地域を通じた新しい人脈、顧客の構築
- ✦ 地域資本の開拓と可視化（データ化）
- ✦ 地域から得られるニーズとシーズの発見

「Society5.0」や「SDGｓ」に対応する

革新的な事業の創出

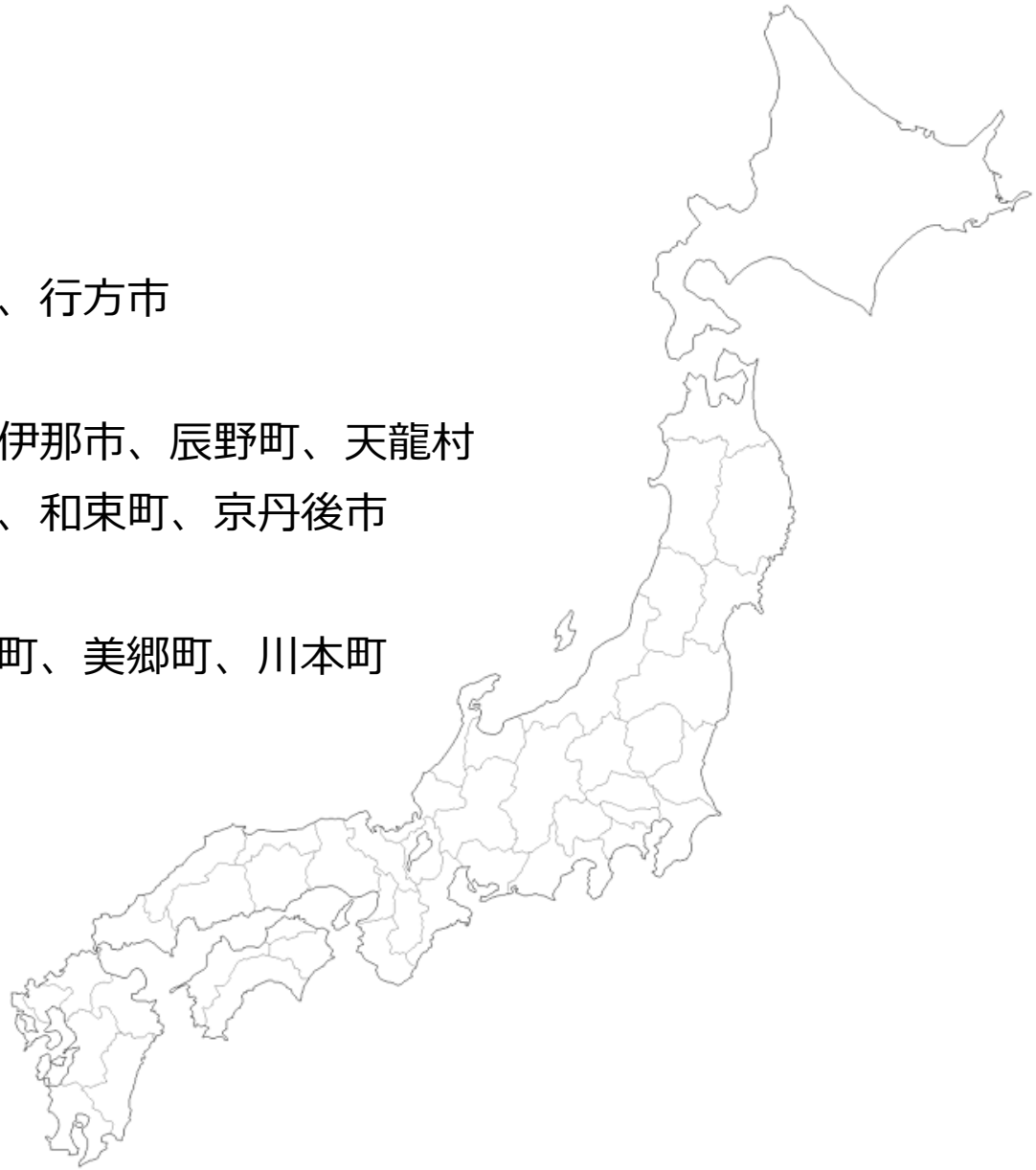
実績

これまで北は北海道、南は九州の離島まで、全国各地の地域で自治体と連携したプログラムを展開してきました。
参加した企業の業種・業界は多岐にわたり、人材もエンジニア、営業、企画、広報、CSR・CSV担当などさまざま。地域でチャレンジしてきた課題も、食農、スポーツ、子育て、健康医療、福祉など幅広い分野があります。

社員研修プログラム 地方創生VI	スポーツ合宿ツーリズムによる 地域経済の活性化	食農コーディネータによる 地域PRとブランド作り	ローカルビジネスの開拓と 世界発信の仕組みづくり
全国7自治体 X VSN社 高いコンサルティング力と技術力を備えたVSNのエンジニアによる、テクノロジーを駆使して社会課題を解決する新規事業の開発。 茨城県鉾田市、栃木県矢板市、島根県美郷町、高知県土佐市、いの町、日高村、鹿児島県薩摩川内市。	**栃木県矢板市 X ランブリッジ社** 宿泊施設や飲食店だけが潤っていた今までのスポーツ合宿ではなく、地域全体を巻き込んで経済効果をもたらすスポーツ合宿ツーリズムコーディネーターの募集、育成、起業支援の実施。	**地域 X ukka社** 地域おこし協力隊制度を活用した、地域の食農コーディネーターの育成	**地域 X B-Bridge社 X シリコンバレー** 「どローカル から グローバルへ」社会課題を解決するビジネスモデルを日本の地方で生み出し、さらに世界に展開するための仕組みづくり

関わってきた自治体

北海道／日高町
福島県／矢祭町
栃木県／矢板市
群馬県／桐生市
茨城県／桜川市、潮来市、鉾田市、行方市
千葉県／いすみ市、館山市
長野県／県庁、筑北村、塩尻市、伊那市、辰野町、天龍村
京都府／宮津市、綾部市、南丹市、和束町、京丹後市
和歌山県／田辺市龍神村
島根県／益田市、吉賀町、津和野町、美郷町、川本町
鳥取県／岩美町
高知県／土佐市、いの町、日高村
長崎県／五島市
鹿児島県／薩摩川内市



掲載メディア

【テレビ】

NHK、日本テレビ、テレビ東京、MXテレビ、J:COM、TCN、BSS

【新聞】

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、
京都新聞、日本農業新聞、茨城新聞、千葉日報、信濃毎日新聞、長野日報、
紀伊民報、中國新聞、日本海新聞、北海道新聞

鉾田市
若者視点で地域おこし
地域の魅力を探る取材活動で、居酒屋を営む坂口弦太さん（右）の話を聞く若者たち＝鉾田市串挽
飲食店や農家取材 来年2月企画発表
高校生、大学生が連携

「市民主役」で活性化
潮来市が地域協力隊募集
人材のデータベース化も

「まち冒険プロジェクト 首都圏から7人
伊那と学生、交流末永く
林業体験やワークショップ
伊那アルプスロード
宮田村の協議会が初会

シカ解体 猟師と触れ合い
東京の学生 自給自足生活体験
地域のまちづくりも学ぶ

実施までの流れ

プログラム実施までに必要な期間は平均３ヶ月程度。
経験豊富なコーディネーターが課題の設定から実行まで一貫してサポートします。

ご相談内容や人数に応じて、プログラムの詳細と予算が決まります。
まずはお気軽にご連絡ください。

©Bono Inc.

ボノ株式会社は「百年後も愛される価値づくり」を理念に掲げる会社として、新規事業の立ち上げに必要なシステムやツールなどの開発、CI・VIなどの企業ブランディングにかかわるデザイン制作、また行政や企業とともに社会問題を解決するための仕組みづくり（ソーシャルデザイン）などに取り組んでいます。

- 商　号　ボノ株式会社
- 設　立　2008年7月10日
- 本　社　〒112-0014 東京都文京区関口1-29-6 ,1F
  Tel：03-6228-0051 ／ Fax 020-4623-8691
- 代　表　代表取締役　横山 貴敏
- 資本金　5,000,000円
- 取引銀行　みずほ銀行 ／ 芝信用金庫
- 取引実績　株式会社日立製作所 ／ 株式会社NTTドコモ ／ 株式会社クレディセゾン ／
  株式会社オープンストリーム ／ 国家公務員共済組合連合会・横浜南共済病院 ／
  京都産大学教養教育研究・推進機構 ／ ほか、地方自治体・公共団体など多数
- 事業内容　新規事業支援：新商品サービス開発／調査研究支援／ソーシャルデザイン／人材育成・紹介
  デザイン制作：企業ブランディング（CI・VI）／HP、パンフ制作／イラスト、キャラクター制作
  システム開発：Webサービス／アプリ／運用システム、などの企画・開発・運営
  イベント企画：ワークショップ、フィールドワーク企画運営、地域イベント、料理イベントなど